

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会を目指す意識づくり

指標	前計画5年目 (現計画策定年)	現計画1年目	現計画2年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		今年度予算 (千円)	担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和5年度 (2023年度)	令和2年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値の達成に向けた令和3年度以降の考え方	令和3年度 (2021年度)	
市民を対象とした男女共同参画に関する研修会、講演会の開催数	6回	6回	7回	8回	令和2年度は、男女共同参画ステップアップセミナーとして、「働く女性応援講座」、「男性の家事育児応援講座」の2講座を開催し、男女共同参画交流ネット登録団体が自主的に行う男女共同参画に関する啓発講座の講師料の補助を4件行い、東海学園大学と共催し、これから社会の一員となる大学生へ向け、性別にかかわらず誰もが活躍できる男女共同参画社会の実現の推進について啓発事業を1事業実施しました。	令和3年度以降も令和2年度の事業を引き続き行くと共に、市民向けLGBT+Q講座を開催していきます。(LGBT+Q講座については、2つ下の性の多様性に関する講演会と同じものです)	362千円	協働推進課
男女共同参画啓発物の配布数	814部	799部	850部	1,000部	令和元年度までは、啓発物として男女共同参画川柳を載せたクリアファイルを作成し、市内中学校3年生や男女共同参画に関する研修会、講習会で配布していました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により男女共同参画川柳の募集を中止したため、クリアファイルの作成はありませんでしたが、成人式の記念品の中にみよし男女共同参画プランパートナーの概要版を加えてもらい、成人者への男女共同参画の意識啓発を行いました。	令和3年度は、令和2年度から行っている成人式記念品での男女共同参画プランパートナーの概要版の配布を継続し、令和元年度まで行っていた男女共同参画川柳の啓発物の配布を再度実施し、啓発物の配布による男女共同参画への意識の醸成を図っていきます。	196千円	協働推進課
性の多様性に関する研修会、講演会の開催数	1回	2回	1回	2回	令和元年度は、市職員向け研修会を1回、男女共同参画交流ネット団体からスキルアップ講演会でLGBTを学びたいとの依頼があり講演会を開催しました。令和2年度は、市職員向け研修会を1回開催しました。	令和3年度も引き続き市職員向け研修会を1回開催するのに加えて、市民向けLGBT+Q講座を開催していきます。	70千円	協働推進課

基本目標Ⅱ 男女ともに多様な選択をできる環境づくり

指標	前計画5年目 (現計画策定年)	現計画1年目	現計画2年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		今年度予算 (千円)	担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和5年度 (2023年度)	令和2年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値に向けた令和3年度以降の考え方	令和3年度 (2021年度)	
行政区役員に占める女性の割合	12.3%	15.7%	19.7%	20%	各行政区に対し、男女共同参画について啓発を行い、行政区役員に占める女性の割合が向上するように努めました。	各行政区に対し、男女共同参画について啓発を行い、行政区役員に占める女性の割合が向上するように努めます。	—	協働推進課
各種審議会の委員の構成に占める女性の割合	30%	29.9%	31.7%	35%	今後も継続して、男女共同参画に関する研修において、男女差のない委員の積極的な選任について学びを深め、各課で選任される各種審議会委員の選任について、女性委員の登用率の向上を図るように努めました。	今後も継続して、男女共同参画に関する研修において、男女差のない委員の積極的な選任について学びを深め、各課で選任される各種審議会委員の選任について、女性委員の登用率の向上を図るように努めます。	—	協働推進課
多文化共生ボランティア登録者数	43人	45人	51人	50人	令和2年度は、日本語ボランティア入門講座は、春講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、秋講座のみの開催となりました。 外国人向け日本語教室も同様の理由により4、5月は休講でしたが、日本語教室ボランティアの費用弁償(交通費)を対象回数分の支払いを行うことで支援をしています。 ボランティアスキルアップ研修も同様の理由で講師を招かずボランティア自らの研修開催となりました。	今後も継続して、年2回(春・秋)の日本語ボランティア入門講座、講師を招いてのボランティアスキルアップ研修を開催し、日本語教室ボランティア費用弁償を行うことで、多文化共生ボランティア登録者数の向上に努めます。	732千円	協働推進課
保育園における待機児童数	21人	19人	0人	0人	令和元年度は、明知保育園において乳児の定員を14名増員し、低年齢児保育の充実を図りました。令和2年度は、わかば保育園とすみれ保育園において乳児の定員を21名増員し、低年齢児保育の充実を図りました。	令和3年度以降も引き続き、多様な保育需要に対応できるよう、小規模保育事業所の認可や民間保育所への移管、定員の見直し等の保育環境の充実を図っていきます。	221,110千円	子育て支援課
親子教室の参加者数	3,152組	2,634組	1,365組	3,000組	未就園児とその保護者を対象に、地域子育て支援センターで、親子ルーム(わくわくルーム(2歳児)、びよちゃんルーム(1歳児)、あかちゃんルーム(0歳児))を各ルーム年7回開催しました。また、子育て子育ての場として、地域子育て支援センター及び子育て総合支援センターで、親子フラダンスやベビービクス、絵本の読み聞かせなどの様々な育児講座を17回開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、12講座を中止しました。	令和3年度以降も令和2年度の事業を引き続き行います。	1,158千円	子育て支援課

子育てふれあい広場の利用者数	67,376人	58,992人	30,291人	70,000人	令和2年度は、乳児や幼児とその保護者が、遊具やおもちゃで自由に遊び、同世代の親子の交流・情報交換をするためのふれあい広場を開設しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止期間を設けましたが、開設時には、絵本の読み聞かせや季節の行事、ボランティアによるイベントなどを行いました。また、身近な子育て相談に相談員が対応しました。	令和3年度以降も引き続きふれあい広場を開設し、絵本の読み聞かせや季節の行事、ボランティアによるイベント、子育て相談の対応を行います。	1,019千円	子育て支援課
家族介護者交流事業（地域サロン）の延べ参加者数	129人	71人	59人	120人	家族介護者交流会である地域サロンは4回開催し、延べ20人が参加しました。また、その内容を「さろんニュース」としてチラシを作成し、在宅で介護をしている人などに配布しました。 認知症家族介護者交流会は9回開催し、延べ39人参加しました。	家族介護者交流会の目的やニーズを考え参加したいと思われる交流会を検討していきます。 認知症家族介護者交流会は、家族の拠り所になるよう事業を続けていきます。	561千円	長寿介護課
パパママ教室の参加者数	216人	174人	63人	250人	パパママ教室は、通常毎月開催の年間12回の開催ですが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により年7回は中止し、年5回開催しました。 なお、平日働いているパパやママが参加しやすいように、12回開催のうち2回土曜開催しています。ただし、令和2年度の土曜開催は新型コロナウイルス感染症の影響により1回でした。	パパママ教室は、毎月開催の年間12回の開催で、うち2回は平日働いているパパやママが参加しやすいように土曜日に開催します。 ・マタニティコース4回 ・子育てコース4回 ・体験コース4回（土曜日2回開催）	174千円	健康推進課
「女性の活躍促進宣言」を宣言している市内企業数	3社	7社	7社	5社	「女性の活躍促進宣言」に関するリーフレットやチラシを公共施設やショッピングモールに掲示し、周知に努めました。	令和3年度以降も令和2年と同様に、企業や市民向けに周知を行っていきます。	—	産業課
「あいち女性輝きカンパニー」の認証を受けた市内企業数	1社	3社	3社	1社	「あいち女性輝きカンパニー」に関するリーフレットやチラシを公共施設やショッピングモールに掲示し、周知に努めました。	令和3年度以降も令和2年と同様に、企業や市民向けに周知を行っていきます。	—	産業課
就職支援セミナーの参加者数	100人	89人	22人	85人	令和2年度は、「シニア世代からの職業人生をどう考えるか?」、「扶養の範囲内で就職を希望する人へのセミナー」、「子育てをしながら働くための準備」、「就活のためのメンタルサポート」、「2021年 個の時代に合わせた就活」の5つのテーマでセミナーを実施し、合計22人（女性18人）の方が参加しました。	令和3年度は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となってしまうセミナーを再開し、若者・女性・高齢者・一般向けのセミナーを10回を目標に開催する予定です。今後におきましても、参加者の再就職の促進を図るため、総合的な就労支援サービスを実施していきます。	379千円	産業課

基本目標Ⅲ 健康で安心して暮らすための基盤づくり

指標	前計画5年目 (現計画策定年)	現計画1年目	現計画2年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		今年度予算 (千円)	担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和5年度 (2023年度)	令和2年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値に向けた令和3年度以降の考え方	令和3年度 (2021年度)	
乳児家庭訪問の割合	95.2%	94.2%	92.7%	98%	生後4か月までの乳児家庭のアポイントを取って訪問した。相談内容により、助産師訪問を実施しました。	生後4か月までの乳児家庭を全戸訪問できるように働きかけます。	770千円	健康推進課
介護予防教室の参加者数	10,788人	10,369人	4,965人	11,500人	地域包括支援センターが支援しながら、市内19の行政区において65歳以上を対象に介護予防教室を開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を控えた時期があり参加者数が減少しました。	新型コロナウイルス感染症が収まり、安心して介護予防教室を開催できるようになった時に、いままで控えていた高齢者を外に連れ出し参加につなげていくことが課題となります。地域包括支援センターが地域住民と協力し、目標値が達成できるようにしていきます。	4,165千円	長寿介護課
子宮頸がん検診受診率	8.1%	7.3%	6.0%	10%	20歳以上の女性で、偶数歳になる人を対象に、問診、医師の診査、子宮頸部細胞診を実施しました。	対象者にクーポン券を送付し、ホームページ等で啓発を図ります。	6,751千円	健康推進課
乳がん検診受診率	12.1%	13.6%	9.4%	15%	40歳以上の女性で、偶数歳になる人を対象に、問診、乳房エックス線又は乳房超音波検診を実施しました。	対象者にクーポン券を送付し、ホームページ等で啓発を図ります。	8,247千円	健康推進課
乳幼児（3・4か月、1歳6か月、3歳児）検診の受診率	97.6%	97.6%	97.5%	98%	対象の月齢及び年齢の乳幼児を対象に健康診査を実施し、発達状況の確認及び発達・育児相談を実施しました。	対象者に案内葉書を送付し、受診勧奨を図ります。	16,626千円	健康推進課

基本目標Ⅳ プランの総合的な推進体制づくり

指標	前計画5年目 (現計画策定年)	現計画1年目	現計画2年目 現状値	目標値	目標値に対する考察		今年度予算 (千円)	担当課
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和5年度 (2023年度)	令和2年度までの実績内容 また、問題点・改善点・良かった点・工夫した点など	目標値に向けた令和3年度以降の考え方	令和3年度 (2021年度)	
市職員の人材育成のための研修を受けた人数	761人	808人	492人	830人	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修センター等に派遣する研修の受給者は大幅に減少した。庁内の研修は、三密を回避し実施しました。	職員研修計画に基づき研修を実施します。	6,659千円	人事課
市の管理職に占める女性の割合	18%	18%	18%	20%	令和元年度では、次長級に1人、課長級に1人、令和2年度では、部長級に1人、課長級に1人の女性職員を登用しました。	女性活躍推進法に基づく特別事業主行動計画に定める目標のうち、管理職に占める女性割合を高めていきます。	—	人事課